

食品健康影響評価における食事由来の化学物質のばく露評価の手引き (仮称) の目次 (案)

- 第1 目的
- 第2 適用範囲
- 第3 用語の説明
- 第4 食品健康影響評価における食事由来の化学物質のばく露評価
 - 1. 序論
 - 2. 食事性ばく露評価のタイプ
 - 3. 食品における化学物質濃度データ
 - 4. 食品消費量データ
 - 5. 食品における化学物質濃度と食品消費量データとの組合せによる食事性ばく露量推定
 - 6. ばく露の生体指標
 - 7. ばく露評価の結果の文書化
- 第5 手引きの見直し

※本文の文書 (案)

第1 目的

本手引きは、化学物質に係る食品健康影響評価の実施において、食事由来の化学物質のばく露評価を実施する際に共通する基本的な考え方、評価モデル、評価に必要なデータ等を整理することにより、一貫性を確保したうえで科学的根拠に基づくリスク評価に資することを目的とする。

第2 適用範囲

本手引きは、食品中に含まれる化学物質（添加物、農薬、動物用医薬品、飼料添加物、器具・容器包装から移行する化学物質、汚染物質、かび毒、自然毒等）並びに遺伝子組換え食品及び新開発食品のばく露量推定に活用することができる。

なお、実際の食品健康影響評価における本手引きの活用に当たっては、各専門調査会及びワーキンググループの専門家の意見に従うこととする。

第5 手引きの見直し

食事由来の化学物質のばく露評価に関する国内外の動向及び科学的知見の蓄積等を踏まえ、必要に応じて本文書を改定する。